

# 「道南連携地域政策展開方針(H25～H29)」 に係る地域重点プロジェクトの概要

## 地域のめざす姿

北海道新幹線がむすぶ、はこぶ、ひらく、魅力あふれる「道南」の未来。

### 「主な施策の展開方向」

- 北海道新幹線開業に向けた地域づくり
- 特色ある地域産業の振興
- 地域資源等を活用した新産業の創出
- 地域に根ざした観光・文化の振興
- 快適で安心して暮らせる地域社会の形成
- 安心して暮らせる地域医療の確保
- 環境と調和した地域づくり
- 国内外との交流促進と交通・情報ネットワークの形成

### 新・地域重点プロジェクトの推進状況

プロジェクト名	新幹線開業を契機とした戦略的地域づくり推進プロジェクト		道南 1						
推進エリア	道南連携地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b> 新幹線開業に向けて道南地域全体での気運醸成を図っていくほか、新たな交通ネットワークの整備など、開業効果を最大限享受するための地域づくりの推進、道南の独自性・優位性を生かした「食」と「観光」との連携による道南ブランドの強化及びその魅力の発信、東北などとの連携による広域観光の推進や食・文化・歴史を生かした交流促進など様々な取組を進め、個性と魅力あふれる地域づくりを進める。</p>									
<p><b>【施策展開の柱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■新幹線開業効果を最大限に引き出す地域づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○新幹線開業に向けた地域の気運醸成</li> <li>○魅力ある新幹線駅づくり</li> </ul> </li> <li>■道南のバラエティ豊かな食と観光のブランド化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「食」と「観光」のブランド化の推進</li> </ul> </li> <li>■世界に誇る地域文化を生かした地域づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○縄文遺跡・縄文文化を活用した地域づくりの推進</li> </ul> </li> <li>■道南の魅力発信の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント開催等によるPR</li> <li>○ホームページによる観光情報の発信</li> <li>○観光物産展への参加やアンテナショップを活用した情報の発信</li> <li>○観光プレゼンテーションの開催など効果的な誘客活動の推進</li> <li>○企業等と連携した観光情報等の発信</li> </ul> </li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンタダウンボードの作成・設置による地域の気運醸成</li> <li>・滞在日数、観光目的に応じた複数の広域観光ルートの検討及びルートに適した二次交通のあり方を検討</li> <li>・「2013道南食と観光ブランドフェア」個別相談・商談会及び道南産食材見本市を開催</li> <li>・道南地域のスマートフォン対応広域観光情報アプリ「みなみ北海道観光ガイド」を制作・配信</li> <li>・北の縄文パネル展の実施</li> <li>・東北圏観光プロモーションの実施</li> <li>・北海道物産展を活用した青函広域観光PRの実施</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光客入込数（延べ人数）</td> <td>1023万人</td> <td>1060万人</td> </tr> </tbody> </table>				項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	観光客入込数（延べ人数）	1023万人	1060万人
項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
観光客入込数（延べ人数）	1023万人	1060万人							

プロジェクト名	道南の多様な農林水産物を生かしたブランド力強化プロジェクト	道南 2
推進エリア	道南連携地域	

**【趣旨・目的】**

道南地域のバラエティ豊かで特色のある農林水産物を活用し、地域の関係者が連携しながら、独自性・優位性を有する多様な地場産品のブランド化を進めることで、付加価値の向上と販路拡大を進める。

**【施策展開の柱と主な取組】**

- 地場産品のブランド化、高付加価値化の推進
  - クリーン農業や有機農業の導入促進
  - 農産物のブランド力強化
  - 地域農産物の生産・消費拡大の推進
  - 古くから生産されている黒大豆等の特産品化
  - マグロ、ヒラメ、エゾバカガイ等生鮮魚介類のブランド化
  - アワビ、ナマコ、マツカワ、コンブ、サクラマス等の資源増大の推進
  - 有害生物による漁業被害の防止に向けた被害防止対策の推進
  - 衛生管理や鮮度保持の強化
  - 「道南スギ」の産地化、需要拡大
  - 農林水産業、食品加工業、試験研究機関が連携した加工品の開発促進
- 食クラスターの推進
  - 道南一体となった食クラスターの形成
- 地場産品の販路拡大
  - 百貨店や管内スーパーと連携した物産フェアの開催等
  - インターネット、アンテナショップ等を活用した地場産品や食材等の紹介
  - ホームページ等によるPR
  - 郷土食のメニュー化など、地場食材を活用した食の魅力創造
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致
  - 地域資源を活用した食料品製造業等の立地促進
  - 様々な機会を活用した地域資源や立地条件などのPR
  - 企業情報の発信

**【主な取組状況（H25～）】**

- ・ YES！Clean栽培技術導入支援事業を活用しYES！Clean生産団体の育成・拡大を促進
- ・ きらりっぷ及び道産食品登録制度の活用を図り、ブランド化を促進
- ・ 「フード塾」事業等により食クラスタープロジェクト推進に資する人材育成事業を実施
- ・ 首都圏・東北を始め、道内外の百貨店物産展等で道南地域産品のPRを実施
- ・ 道南地域産品アンテナショップ「Foodkan」の開設
- ・ 企業誘致促進のため、北海道産業振興条例や企業立地促進法、HFC特区制度などの支援制度について周知・PRを実施

**【地域で考える“目標”】**

項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
クリーン農業に取り組む生産 集団数 (YES!clean)	26 団体	37 団体
道南地域における漁業生産量	17.9 万トン	19.8 万トン
製材の道内出荷量比率	38% (スギ 22%)	40% (スギ 25%)
管内スーパー等と連携した物 産フェアの開催数	年 28 回	年 28 回

プロジェクト名	道南の食・文化・歴史を生かした交流促進プロジェクト		道南 3									
推進エリア	道南連携地域											
<p><b>【趣旨・目的】</b>          北海道新幹線の開業を見据え、食・文化・歴史など地域の魅力の再発見と磨き上げ、新たな魅力の発掘を進めるとともに、その効果が道南全体に波及するよう東北を含めて道南の広域観光を推進。</p>												
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域資源の発掘・磨き上げ           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縄文文化遺跡や城跡などの歴史的遺産や江差追分等伝統芸能などの文化的遺産の観光資源としての活用促進と新たな観光資源の開発</li> <li>○ 観光資源としての食の発掘・磨き上げ</li> <li>○ ホスピタリティあふれる観光産業の展開</li> <li>○ 地域の魅力をさらに高める取組の推進</li> </ul> </li> <li>■ 広域観光ルートの開発           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光客へのワンストップサービスの提供</li> <li>○ 道南地域の広域観光ネットワークの形成</li> <li>○ 青森や後志地域を視野に入れた広域観光ルートの開発など広域観光を進めるための取組の展開</li> </ul> </li> </ul>												
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江差追分の演奏や観光パンフレットの配布など「函館観光プロモーション」を実施</li> <li>・ 函館市内のスーパーと連携し、平成23年度に開発した「ひやまカレー」のPRを目的とした試食会を開催</li> <li>・ リピーターを確保するため、観光ホスピタリティセミナーを開催</li> <li>・ 観光客へのワンストップサービスを担う人材を育成するセミナーを開催</li> <li>・ 管内各町、商工会、観光協会などで構成する「檜山の新幹線観光をみんなで考える会」を設置し、広域観光メニューを検討</li> <li>・ 滞在日数、観光目的に応じた複数の広域観光ルートの検討及びルートに適した二次交通のあり方を検討</li> </ul>												
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光客入込数（延べ人数）</td> <td style="text-align: center;">1023万人</td> <td style="text-align: center;">1060万人</td> </tr> <tr> <td>観光客平均宿泊数</td> <td style="text-align: center;">1.16泊</td> <td style="text-align: center;">1.37泊</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	観光客入込数（延べ人数）	1023万人	1060万人	観光客平均宿泊数	1.16泊	1.37泊
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
観光客入込数（延べ人数）	1023万人	1060万人										
観光客平均宿泊数	1.16泊	1.37泊										

プロジェクト名	地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト		道南 4						
推進エリア	道南連携地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b>  迅速な初期治療や搬送時間の短縮による救命効果が期待されるドクターヘリの導入に向けた取組や救急時における円滑な患者搬送のための高規格幹線道路の整備を促進する。  また、地域の自主防災組織の方々や地域防災マスターなどのネットワークづくり、被災経験の伝承、防災活動に関する情報提供の充実などを通じて、地域の防災体制の向上を図る。さらに、広域救急患者搬送体制の整備はもとより、地方・地域センター病院としての機能の充実、医療従事者の確保・定着や、住民の健康づくりを推進する。</p>									
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域救急患者搬送体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ドクターヘリの導入や高規格幹線道路の整備促進等を含めた救急搬送体制の充実</li> </ul> </li> <li>■ 地域の絆による防災体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治会や自主防災組織等の連携促進</li> <li>○ 「防災文化」の発掘・継承活動の促進</li> <li>○ 防災関係機関等との連携強化</li> </ul> </li> <li>■ 暮らしの安全・安心を支える地域づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療従事者の確保対策</li> <li>○ 在宅医療の推進</li> <li>○ 高齢者福祉対策の推進</li> </ul> </li> <li>■ 誰もが心豊かに暮らすことができる集落対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の主体的な取組との協働、連携</li> </ul> </li> <li>■ 自立的発展や生活の安定を促す離島振興施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通施設の整備</li> <li>○ 生活環境の整備</li> <li>○ 高齢者等の保健福祉の向上</li> </ul> </li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道南ドクターヘリ導入調査検討会・幹事会の開催</li> <li>・ 医療機関における地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）による患者情報の共有</li> <li>・ 地域防災ミーティングの開催</li> <li>・ 防災関係機関と連携し、青森県東方沖地震津波災害を想定した災害対処訓練を実施</li> <li>・ 「認知症の人と家族が安心して暮らせる地域づくり」をテーマに保健、医療、福祉関係者を対象とした在宅医療推進講座の開催</li> <li>・ 「北海道における集落対策の方向性」の周知や集落問題地域フォーラムの開催、地域リーダー養成講座の開催</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主防災組織率</td> <td style="text-align: center;">42%</td> <td style="text-align: center;">48%</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	自主防災組織率	42%	48%
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
自主防災組織率	42%	48%							

プロジェクト名	産学官連携や特区制度等の活用による地域産業活性化プロジェクト		道南 5						
推進エリア	函館周辺地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b>          北海道産業振興条例や北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の制度の活用などにより、函館マリンバイオクラスターをはじめとする産学官連携の取組を強化・拡充し、新製品や新技術の開発を進めるとともに、新産業の創出や産業集積を推進する。</p>									
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新産業創出や商品開発、研究開発の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 函館マリンバイオクラスターなど産学官連携の取組の成果の利活用</li> <li>○ 各種支援制度等の活用</li> <li>○ 関係機関の連携による地域ニーズへの対応</li> <li>○ 産学官連携成果品のPR</li> </ul> </li> <li>■ 企業誘致の促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域資源を活用した各種製造業の立地促進</li> <li>○ 様々な機会を活用した地域資源や立地条件などのPR</li> <li>○ 企業情報の発信</li> </ul> </li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「函館マリンバイオクラスター」や「北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区」など産学官連携の取組状況や支援制度等をWEBサイトにより広く情報発信</li> <li>・ 北海道渡島総合振興局庁舎の1F道民ホールや道立工業技術センターにて産学官連携成果品を展示</li> <li>・ 企業誘致促進のため、北海道産業振興条例や企業立地促進法、HFC特区制度などの支援制度について周知・PRを実施</li> <li>・ 渡島産学官連携ウェブサイトにより、民間企業や団体、研究機関等の連携事例を掲載し、今後の連携拡大に向けた情報を幅広く紹介</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管内の主な大学等の共同研究数</td> <td>年39件</td> <td>年39件</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	管内の主な大学等の共同研究数	年39件	年39件
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
管内の主な大学等の共同研究数	年39件	年39件							

プロジェクト名	日本海沿岸の豊かな森・川・海の保全・活用プロジェクト		道南 6						
推進エリア	檜山地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b> 産業基盤である森や川、海の環境を守りながら、森林や田畑がもつCO<sub>2</sub>の吸収など多面的な機能について考える取組を地域が一体となって推進し、自然エネルギーの活用等により、次世代へ引き継がれる自然と人が共生した地域社会の実現を目指す。</p>									
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の植生に応じた住民参加による森林づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開</li> </ul> </li> <li>■ 森林保全の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適正な森林資源管理と低コスト化林業の推進</li> <li>○ 離島における森林整備の推進</li> </ul> </li> <li>■ 環境保全の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ バイオマスエネルギーの利活用の促進</li> <li>○ 環境教育の推進（ヒグマ講座、自然観察等）</li> </ul> </li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 檜山地域日本海グリーンベルト構想の取組が檜山管内に十分浸透するよう、関係団体相互間の情報提供や情報交換に係る会議を開催</li> <li>・ 林業経営の低コスト化に向けて、関係機関と連携し、路網整備と機械化の一体的な推進を図るため、森林作業道整備に関する現地検討会を開催</li> <li>・ 「北海道南西沖地震20周年追悼植樹祭」の開催</li> <li>・ 奥尻町及び厚沢部町において、公共施設にチップボイラーを導入</li> <li>・ 檜山管内の自然環境を維持していくため、地域住民や次世代を担う小学生を対象とした自然教室を開催</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伐採跡地面積</td> <td style="text-align: center;">5 4 3 ha</td> <td style="text-align: center;">4 4 3 ha</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	伐採跡地面積	5 4 3 ha	4 4 3 ha
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
伐採跡地面積	5 4 3 ha	4 4 3 ha							